

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

1 電二次

令和 7 年度

1 級電気工事施工管理技術検定

第二次検定問題

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて 6 ページです。
2. 試験時間は、13 時から 16 時までです。
3. 試験問題は、6 問題です。全問解答してください。
4. 問題 1 から問題 4 は、記述式の問題です。解答は、解答用紙の定められた範囲に記入してください。
5. 問題 5 及び問題 6 は、五肢択一式の問題です。解答は、正解と思う肢の番号を塗りつぶしてください。
6. 解答用紙は、別紙（両面）になっています。
7. 解答は、HB の芯を用いたシャープペンシル又は HB の鉛筆で記入してください。
それ以外のボールペン、サインペン、色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
8. 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと、減点となる場合があります。
9. 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
10. この問題用紙の余白は、計算などに使用することができます。
11. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方をする場合があります。
12. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は、回収します。

問題 1. 次の問A又は問Bのどちらかを選択して答えなさい。

解答する記述については、墜落災害2項目、飛来落下災害2項目、墜落災害及び飛来落下災害各1項目のいずれでもよいものとするが、事項とその理由及び対策の内容は重複しないこと。

なお、保護帽の着用のみ又は要求性能墜落制止用器具(安全帯)の着用をみの記述については配点しない。

問A)

あなたの電気工事の経験を踏まえ、高さ10m以上の作業場への揚重作業を伴う電気工事において、施工中、作業者に墜落災害又は飛来落下災害が発生する危険性があると、あなたが予測した事項とその理由について、2つ具体的に記述しなさい。

そのうえで、これらの労働災害を防止するために、あなたがとるべき対策について、その事項ごとに2つ具体的に記述しなさい。

問B)

あなたの電気工事の経験を踏まえ、屋外における作業時間が夜間に限られる電気工事において、施工中、作業者に墜落災害又は飛来落下災害が発生する危険性があると、あなたが予測した事項とその理由について、2つ具体的に記述しなさい。

そのうえで、これらの労働災害を防止するために、あなたがとるべき対策について、その事項ごとに2つ具体的に記述しなさい。

問題 2. あなたの電気工事の経験を踏まえ、全停電のできない施設における電気設備の改修工事において、施工中、作業者に感電災害が発生する危険性があると、あなたが予測した作業内容とその理由について、具体的に記述しなさい。

そのうえで、これらの感電災害を防止するために、あなたがとるべき対策について、具体的に記述しなさい。

問題 3. 電気工事に関する次の語句の中から 2 つ選び、番号と語句を記入のうえ、適正な品質を確保するための方法について、それぞれ 2 つ具体的に記述しなさい。
ただし、方法の内容は重複しないこと。

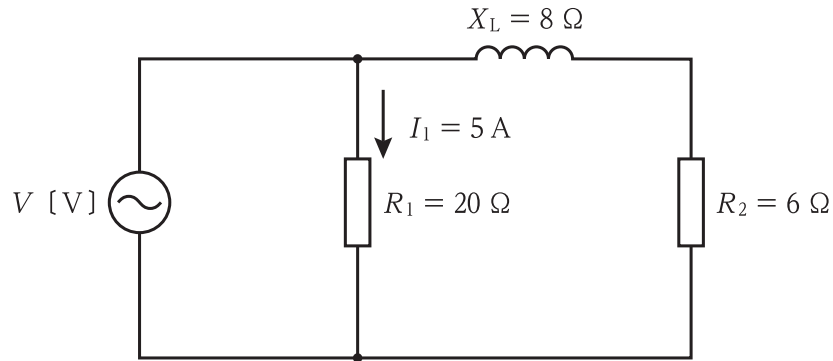
1. 資材の管理
2. ケーブルラックの施工
3. 重量機器の取付け
4. 盤への電線の接続

問題 4. 電気工事に関する次の用語の中から 4 つ選び、番号と用語を記入のうえ、技術的な内容について、それぞれ 2 つ具体的に記述しなさい。
ただし、技術的な内容とは、施工上の留意点、選定上の留意点、動作原理、発生原理、定義、目的、用途、方式、方法、特徴、対策などをいう。

1. コンバインドサイクル発電
2. 水車のキャビテーション
3. 光ファイバ複合架空地線(OPGW)
4. 架空電線路と比較した地中電線路の特徴
5. スコット結線変圧器
6. ビルエネルギー管理システム(BEMS)
7. 電力デマンド制御
8. 共同住宅用自動火災報知設備
9. 列車集中制御装置(CTC)
10. 電気鉄道の電食防止対策
11. トンネルの入口部照明
12. 接地抵抗の低減方法

問題 5. 次の間に答えなさい。

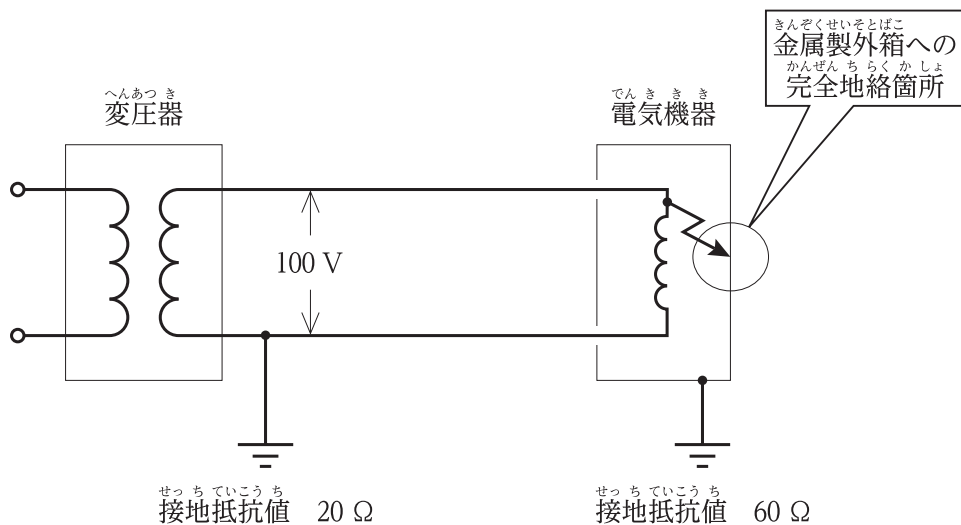
5-1 図に示す回路において、抵抗 R_2 で消費される電力の値 [W] として、正しいものはどれか。



- ① 150 W ② 200 W ③ 500 W ④ 600 W ⑤ 1 250 W

5-2 図に示す回路において、電気機器に完全地絡が生じたとき、その金属製外箱に生じる対地電圧の値 [V] として、正しいものはどれか。

ただし、電線の抵抗など、表示なき抵抗は無視するものとする。



- ① 25 V ② 50 V ③ 75 V ④ 90 V ⑤ 100 V

もんだい けんせつぎょうほう また でん き じ ぎょうほう かん つぎ とい こた
問題 6. 「建設業法」又は「電気事業法」に関する次の問に答えなさい。

6-1 建設工事の下請代金の支払に関する次の記述の に当てはまる語句として、
「建設業法」上、定められているものはそれぞれどれか。

「元請負人は、前払金の支払を受けたときは、下請負人に対して、 ア , 労働者の
募集その他建設工事の イ に必要な費用を前払金として支払うよう適切な配慮をしなければなら
ない。」

ア ① 機器の調達 ② 仮設の手配 ③ 工具の購入 ④ 資材の購入 ⑤ 仮設の契約

イ ① 見積 ② 着手 ③ 施工 ④ 完成 ⑤ 完了

6-2 建設工事の請負契約に関する次の記述の に当てはまる語句として、「建設業法」
上、定められているものはそれぞれどれか。

「委託その他いかなる ア をもってするかを問わず、報酬を得て建設工事の イ
を目的として締結する契約は、建設工事の請負契約とみなして、この法律の規定を適用
する。」

ア ① 業務 ② 方法 ③ 立場 ④ 名義 ⑤ 資格

イ ① 完成 ② 着工 ③ 許可 ④ 設計 ⑤ 発注

6－3 電気工作物の工事計画に関する次の記述の に当てはまる語句として、「電気事業法」上、定められているものはそれぞれどれか。

電気事業法第48条

「第1項 事業用電気工作物の設置又は変更の工事(第47条第1項の主務省令で定めるものを除く。)であって、主務省令で定めるものをしようとする者は、その工事の計画を主務大臣に届け出なければならない。その工事の計画の変更(主務省令で定める軽微なものを除く。)をしようとするときも、同様とする。

第2項 前項の規定による届出をした者は、その届出が ア された日から イ を経過した後でなければ、その届出に係る工事を開始してはならない。

(以降省略)」

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| ア ① 提出 | ② 承諾 | ③ 認定 | ④ 確認 | ⑤ 受理 |
| イ ① 7日 | ② 14日 | ③ 30日 | ④ 45日 | ⑤ 60日 |

令和7年度 1級電気工事施工管理技術検定 第二次検定
 五肢択一式問題の正答肢
 ＜ 令和7年10月19日 実施 ＞

問題 5.

問題番号	5 - 1	5 - 2
正答肢	4	3

問題 6.

問題番号	6 - 1	
	ア	イ
正答肢	4	2

問題番号	6 - 2	
	ア	イ
正答肢	4	1

問題番号	6 - 3	
	ア	イ
正答肢	5	3

解答の公表範囲

- 第二次検定は、問題の解答形式がマークシートとなっている設問の正答肢番号を公表します。
 なお、解答形式が記述式の設問の正答は公表しません。